

大学と家庭をむすぶ

GROWTH

後援会通信
グロース
vol.35
2019
AUTUMN



留学を



しよう

前田 洸希
MAEDA KOKI
経営学部経営学科 4年

茂木 ひなた
MOGI Hinata
法学部法律学科 2年

TU 東北学院大学

土樋
キャンパス

〔大学院〕文学研究科／経済学研究科／
経営学研究科／法学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各3・4年）
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1
TEL 022-264-6421（総務課）
FAX 022-264-3030（ ）

多賀城
キャンパス

〔大学院〕工学研究科
〔学部〕工学部
〒985-8537 多賀城市中央1丁目13-1
TEL 022-368-1116（庶務係）
FAX 022-368-7070（ ）

泉
キャンパス

〔大学院〕人間情報学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各1・2年）／教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1
TEL 022-375-1121（庶務係）
FAX 022-375-4040（ ）

東北学院大学後援会通信GROWTH(グロース)vol.35

発行日／2019年10月
編集／東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)
発行／東北学院大学後援会
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1 TEL 022-264-6411 FAX 022-264-3030
E-mail kouenkai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL https://www.tgu-kouenkai.org/
制作／Hi creative inc.


GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙-3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するという期待が本紙に込められています。

【本紙における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】
本紙に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本紙に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本紙の無断転載はお断りしております。

■本紙に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

TU 東北学院大学

<https://www.tgu-kouenkai.org/>



Study Abroad



見つめる人になる。を見つける人になる。
留学で、世界を広げる。



グローバル時代に求められる
“世界を知る”こと。

現代は、人やモノの移動・輸送、経済活動が地球規模で展開される「グローバル時代」といわれます。特に、世界的な競争と共生が進むビジネスの現場では、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性を有した「グローバル人材」への要請が高まっています。これは大企業に限ったことではなく、地域を支える会社も「グローバル企業」としての側面を強めています。

また、普段の生活においてもインターネットを通じた英語による情報発信や収集、インバウンド（訪日外国人旅行者）の増加とその対応など、私たち一人ひとりがグローバルな視点や姿勢を備えなければならない時代になっています。様々な背景を持つ人々への理解と敬意は、“多様性への受容”にもつながっていきます。

学生時代だからこそできる
「留学」にチャレンジ。

グローバル人材には、国際交流を可能にする高度な外国語能力のほか、チャレンジ精神・主体性・協調性、困難や課題を解決する能力、さらには自国の言語・文化・歴史を発信する知識も求められます。これらを養う大きなチャンスが「留学」です。

東北学院大学では、およそ半世紀前から海外協定校などを受け入れ先とした留学を企画および実施し、多くの学生を送り出してきました。近年は、「留学の目的」「条件」に合わせた豊富なプログラムを用意し、多様なニーズと志向に応じています。“まだ知らない世界と出会う”ことは、学生時代だからこそできる経験の一つなのではないでしょうか。勇気と好奇心あふれる挑戦をサポートします。

>>> 留学スタイルを見つける



Study Abroad, Learn About Yourself

自分にあった留学スタイルを見つける。

半年以上の長期
留学に挑戦したい

交換留学 協定校

休学せずに半年～1年間、
海外の大学(協定校)でじっくり勉強します。

希望する大学の語学条件、ならびに本学の出願条件をクリアする必要があるなど、準備までの時間と努力を要します。留学中も在学期間にカウントされ、留学先で取得した単位が所属学科の条件に合えば、本学の単位として認められます。また、本学への授業料を納入することにより留学先大学の授業料は免除されます。

夏休み・春休みを
利用して海外へ

短期留学

休暇を利用して、語学学習や異文化体験。
海外が初めての方にもおすすめします。

渡航を希望している国の歴史や文化に興味があり訪れてみたいと考えている人、語学力を向上させたい人へおすすめします。長期留学に向けた準備としても良いでしょう。

[次ページで詳しくご紹介します](#)



Exchange Study Abroad: Personal Development,
Make Lifelong Friends, Expand Your Worldview

海外で送るキャンパスライフ、 “未来を切りひらく力”を身につける。

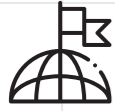
交換留学

約半年または1年間、本学の協定校で正規科目を受講します。交換留学を経験した多くの先輩が、「様々な困難を乗り越えて、大きく成長できた」、「国籍を問わず多くの友人ができた」と話しています。語学条件や出願条件などのハードルがありますが、将来に“効く”実りをもたらしてくれる充実のプログラムです。

- 留学目的: 単位取得
- 留学期間: 半年～1年
- 留学費用: 留学先大学の授業料は免除。渡航費や海外旅行保険料、生活費などは自己負担。
- 出願条件: ① 留学出発時に本学の学部または大学院に1年以上在学していること。(1年生の出願は後期からとなります) ② 学部においては各学年で30単位以上、大学院においては16単位以上修得していること。③ 要求される語学条件および他条件を満たしていること。
- その他: 留学期間は本学の在学期間としてみなされます(休学ではありません)。本学在学中に1回のみ交換留学ができます。

< 留学先一覧 (2019年度) >

国	大学	留学期間	国	大学	留学期間
アメリカ	フランクリン&マーシャル大学	8～翌5月	台湾	世新大学	2～6月/翌1月
	アーサイナス大学			天主教輔仁大学	9～翌1月/翌6月
韓国	平澤大学校	2～6月/12月		タイ	明道大学
	ソウル神学大学校	8～12月/翌6月	泰日工業大学		9～翌1月/翌7月
	梨花女子大学校	2～6月/12月 9～12月/翌6月	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	2～5月/12月
	韓国外国語大学校			9～12月/翌5月	
中国	東義大学校	2～6月/12月 9～12月/翌6月	ドイツ	ラインマイン大学	4～9月/翌3月
	全南大学校			トリア大学	3～7月/翌2月
	啓明大学校			ルートヴィヒス ハーフェン経済大学	10～翌3月/翌9月
中国	山東大学(威海キャンパス)	3～7月/翌1月 9～翌1月/翌7月	フランス	サヴォア大学	1～4月/12月
	北京第二外国語大学		ブルガリア	ソフィア大学	9～12月/翌4月
	南開大学	9～翌7月			2～7月/翌2月 10～翌2月/翌7月



Short Visit: Improve Your Language Skills, Getting the chance to explore

初めての海外体験に。 また将来的に長期の留学を視野に 入れる人にも。

短期留学

春期・夏期の休暇を利用し、渡航する留学プログラムを多数ラインナップ。アジアを始め、北米、欧州、オセアニアなどの魅力的かつ個性豊かな文化と歴史を持つ国・地域を網羅しており、毎年、新しいプランが始動しています。それぞれのプログラムには、学びのスタイル(大学/語学学校)、滞在先(大学寮/ホームステイ)、アクティビティ(ワークショップ、文化体験、観光など)など、多彩で特徴のある内容が盛り込まれています。いずれも質の高い授業が展開されます。語学の鍛錬だけではなく、新しい人や出来事との出会い、驚きや喜びにあふれる留学という挑戦。仙台から世界へ、飛び出してみませんか？



- イギリス** 春期 夏期
- ロンドン大学(英語音声学プログラム)
 - カンタベリー(語学学校)

- ドイツ** 春期
- ケルン・ベルリン・ミュンヘン(語学学校)

マルタ共和国 春期 夏期

- セントジュリアン(語学学校)




- 中国** 夏期
- 山東大学(威海キャンパス)
 - 北京第二外国語大学
 - 南開大学


- マレーシア** 春期
- クアラルンプール(語学学校)

- タイ** 春期 夏期
- 泰日工業大学

- 韓国** 春期 夏期
- 平澤大学校夏期留学
 - 梨花女子大学校短期留学

- 台湾** 夏期
- 世新大学
 - 天主教輔仁大学

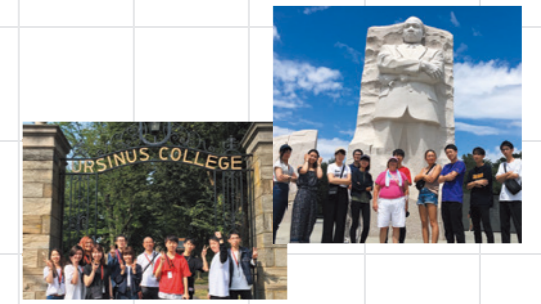
- フィリピン** 春期 夏期
- セブ(語学学校)
- 

- オーストラリア** 春期
- サザンクロス大学(ゴールドコーストキャンパス)
- 



- カナダ** 春期 夏期
- ビクトリア大学(附属語学学校)
 - バンクーバー(語学学校)

- アメリカ** 春期 夏期
- アーサイナス大学(アメリカ研究夏期留学)
 - サンタバーバラ(語学学校)
 - ホノルル(語学学校)



青太字=協定校開催プログラム

※2019年度現在の留学先です。留学先及び時期は年度により異なる場合があります。



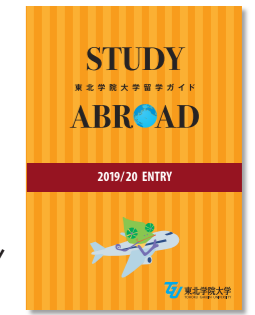
世界に飛び出す“初めての一步”を、 私たちが応援します。

今から130年以上前、東北学院の礎を築いたのは、海を渡って日本の地を踏んだ宣教師たちでした。以来、本学は東北の中心の地にありながらも、常に世界を見つめ、国際的な交流の実現を目指してきました。留学プログラムも、昨今のようにグローバルという言葉が話題になる以前から継続的に企画・提供しております。日本では経験することのできない出来事に触れ、一回りも二回りも大きく成長して帰ってくる学生たち。目を輝かせて、異国体験を報告してくれる学生の話聞くことは、私たちの喜びです。一人でも多くの方が、心配や不安を抱くことなく、自らの目標や目的に向けて取り組めるよう、力強くサポートしていきます。

留学のことは国際交流課へ
土樋キャンパス 国際交流課
泉キャンパス 国際交流係

東北学院大学 留学ガイド

東北学院大学の海外留学情報誌です。



webからダウンロードもできます。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/global/abroad/>

“未来のわたし”のためのStudy Abroad

アメリカ研究夏期留学

interview

視野を広げることで、 世界も広がった3週間。

MAEDA Koki

前田 洸希 さん

経営学部経営学科 4年



きめ細かな支援と安心感、 質の高い充実の内容。

自分が見ている世界は狭いのかな。もっと違う風景に出会ってみたい…海外にはずっと興味を持ってきましたが、学業やサークル、アルバイトの忙しさもあって、なかなか旅行や留学の機会をつかめずにいました。本学の留学プログラムに参加するきっかけをつくってくれたのは今回一緒に渡米した友人です。ちょうど卒業要件単位もほぼ満たしていましたし、将来の進路(就職活動)も目星がついたというタイミングでした。

最近では、民間会社が提供する留学プランも多くありますが、本学の『アメリカ研究夏期留学』は、教職員の方々のサポートやバックアップによって、安心して参加できるという点が大きな特長だと思います。渡米までの準備も念入りで、ガイダンスや英語ネイティブ教員による授業があります。そこで英会話ほもとより、文化や習慣についてしっかりと学習してから留学に臨むので、不安は最小限に、学びの効果は最大化されたように感じています。海外渡航は初めてだったのですが、パスポートの取得を始めとする手続きも丁寧に教えていただき、とても助かりました。

“言葉や文化は違うけど同じ人間” という理解。

学問としての英語は好き。でも話す技術を身に付けてこなかった…今回の夏期留学を通じて、自分の実力を客観視できたと思います。初めの一週間はアーサイナス大学の寮で過ごしたのですが、そこで同世代の学生たちと密に会話できたのは、耳を“英語仕様”にするのにとっても役立ちました。アニメや音楽など共通する話題も多かったですね。

会話のキャッチボールのために“英語をいちいち日本語に訳さない”ように努めていましたが、語彙が少なくうまく表現できなかったこともあり。たくさんのもどかしさや悔しさは、英語学習のモチベーションアップにつながったことは言うまでもありません。帰国後はTOEIC高得点を目標して勉強を始めました。就職先の会社には海外拠点もあり、日本語を母語としない人たちと一緒に仕事をする機会もあるかもしれませんが、気負わずに接することができると思います。

「住む場所、言葉や文化、バックグラウンドが異なっても同じ人間なんだ」という視点を得たことは今回の夏期留学の大きな収穫です。たくさんした後輩たちに同じような貴重な経験をしてほしいと思います。

『アメリカ研究夏期留学』は、全学部共通の「海外研究Ⅰ(2単位)」「海外研究Ⅱ(2単位)」の一環として米国で学ぶ3週間のプログラム。2019年度に47回目を迎えた実績ある取り組みです。ひと夏を過ごした米国で、どんな出来事に心を揺らし、どんなことに気づき、深く考えたのでしょうか。お二人に話をお聞きしました。

interview

思考を伝達させる手段として。 言葉の重要性を再認識。

MOGI Hinata

茂木 ひなた さん

法学部法律学科 2年



表現できないもどかしさ、 「生きた英語」の必要性を痛感。

両親が英語教育に前向きで、小学校の頃から英会話スクールに通っていました。高校では、1年生の春休みを利用して、ハワイにある分校に留学した経験もあります。日本語を一切使わない英語漬けの3週間で、コミュニケーションにかなり自信ができました。特有のアクセントを聞き分ける“英語耳”も身に付き、“なまり”は万国共通なんだと興味深く思ったものでした。

今回の夏期留学は、集中的に英語を学んだ時期からブランクがあり、渡米してすぐの頃は、会話の聞き取りはできても、発話がなかなかスムーズにいきませんでした。また、自分の論文テーマを研究するという目標を掲げていましたが、専門用語に阻まれ、深い議論ができなかったことが心残りです。もっと「生きた英語」の勉強をしなければと決意を新たにしました。アーサイナス大学でアシスタント役を担ってくれていた学生の中には、英語のほかに2つの言語を操るトリリンガルもいて、すでに英語話者という国際的なアドバンテージがあるのに、チャレンジを続けている姿勢に感銘を受けました。

異なる文化と価値観の中で、 自分と日本を考える好機に。

期間中、特に印象に残った出来事に、アーサイナス大学での演劇の授業があります。先生がとてもおもしろく情熱的なキャラクターで、学生の一人が「(演じているとはいえ)人前で感情をあらわにすることは恥ずかしくないですか」と質問したところ、「他人にどう思われているか、僕には関係ない」と答えていました。空気を読んだり、調和を重視したりする日本では、なかなか持ちにくい価値観なのかなと感じました。また、いろんな場面で、「あなたの」意見を求められることが多くありました。アメリカでは、自分の意見を声高に主張することをいとわない人が多いですね。しかし、相手へのリスペクトが根底にあるから、口論になることもありません。日本では今、多様性の受容が大きな課題となっていますが、こうした姿勢を備えなければならないように感じました。

今回の夏期留学では、アメリカの一端に触れることができましたが、異なる文化や宗教の中で、自分と日本について違う視点から見つめることができました。たくさんのお会いと気づきに満ちた2019年の夏でした。

後援会総会・ 大学開放プログラム

2019年5月25日(土)

土樋キャンパスにおいて、
約720名の保護者をお迎えし、
「2019年度東北学院大学後援会総会」と
「大学開放プログラム」を
開催しました。



ラーハウザー記念東北学院礼拝堂で行われた後援会総会では、鎌田宏後援会会長が議長を務め、2018年度の後援会収支決算及び会計監査報告、2019年度後援会予算案や事業計画などを説明し、お集まりいただいた多数の保護者の方々にご承認いただくことができました。

大学開放プログラムでは、礼拝堂でのパイプオルガンコンサートや聖歌隊による合唱、大学礼拝、東北学院史資料センターや中央図書館などを自由に見学できる施設開放、歴史的建造物を学生の案内で巡るキャンパスツアーも行われました。

教養セミナー終了後は、ホーイ記念館で1・2年生対象と3・4年生対象に分けた学生の就職を考えるセミナーが実施され、最新の就職事情や保護者のサポートなどについての説明を行いました。



後援会総会

議事報告

(1)2018年度後援会庶務報告について

高橋祥充副会長より、役員人事、2018年度役員会、2018年度後援会総会並びに大学開放プログラム、2018年度地区後援会実施状況について報告があり、原案通り承認されました。

(2)2018年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について

浅野ひとみ会計担当理事より報告があり、原案通り承認されました。
佐浦みどり監事より、帳簿等が正確に整備されていることについて監査報告がなされました。

(3)2019年度後援会事業計画(案)について

高橋祥充副会長より、2019年度後援会総会、2019年度地区後援会について説明があり、原案通り承認されました。

(4)2019年度後援会収支予算(案)について

浅野ひとみ会計担当理事より説明があり、原案通り承認されました。

※来年度は2020年5月下旬に開催の予定です。案内状は4月下旬に発送いたします。



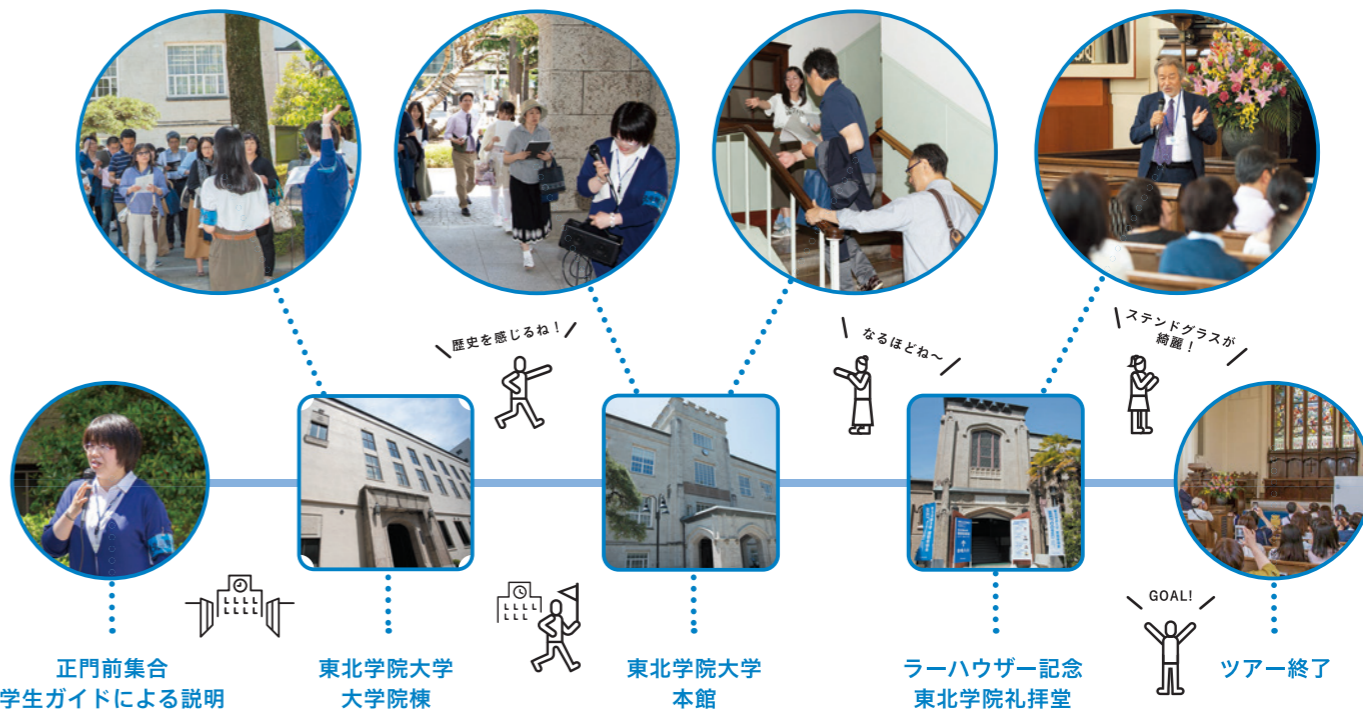
学生の案内で巡る

キャンパス見学ツアー

登録有形文化財

見学
歴史的
建造物

ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
東北学院大学本館
東北学院大学大学院棟



正門前集合
学生ガイドによる説明

東北学院大学
大学院棟

東北学院大学
本館

ラーハウザー記念
東北学院礼拝堂

ツアー終了

大学開放プログラムに参加して

- キャンパス見学ツアーの学生ガイドは、丁寧且つユーモアを交えてご説明をしてくださり良かったです。
- 学科別懇談会では、教員の方々に大変丁寧に対応していただきました。
- バックンマクソンさんの「壁はステップ」というメッセージは、英語だけでなく、人生経験すべてに言えることと思いました。
- 就職セミナーでは、保護者がすべきことを再確認することができました。



私たちが案内しました

学生ガイド

左から：
経済学研究科博士後期過程(3年)
雲然 祥子さん
教養学部言語文化学科(1年)
畑 萌さん



保護者と学生のための 教養セミナー

漫才師のバックンマクソンをお招きし、「バックンマクソンの笑劇的国際コミュニケーション力」と題した保護者と学生のための教養セミナーが礼拝堂において行われました。来場者同士での自己紹介、アメリカ人と日本人のコンビだから気がついたことを面白おかしく伝えるなど、終始笑いが絶えない時間が続き、「話すことが楽しいと思えたのなら、外国の方と遠慮なく会話してみてください」と語り、最後にバックンからの「Can you speak English?」の質問に会場の全員が「Yes!」と答えて約1時間の教養セミナーは終了しました。



その他様々な催しがありました。



パイプオルガン コンサート& 聖歌隊による合唱



学科別懇談会



学生の就職を 考えるセミナー



東北学院大学 地区後援会

2019年7月13日(土)～9月8日(日)

全国28地区で地区後援会を開催し、
本学教職員による東北学院大学の
近況報告や個別面談、自治体等による
地元就職セミナーなどが
行われました。



プログラム

- **大学からの挨拶**
本学の教育方針・近況の報告など
- **3部からの説明**
・学務部…「進級・卒業」「単位取得」「科目登録」など
・学生部…「奨学金」「課外活動」「アルバイト」など
・就職キャリア支援部…「就職活動」「キャリア形成」など
- **自治体等による地元就職セミナー(地区限定)**
- **若手卒業生による先輩体験談(動画上映)**
- **昼食会**
- **大学紹介(動画上映)**
- **個別面談(希望者のみ)**
さまざまな内容に対する相談を個別に行いました。

皆様の声

- 初めて参加させていただきましたが、学生生活の見通しが持て良かったと思います。8月のこの時期だからこそ、子どもと話すきっかけにもなりました。
- 子どもは仙台や東京での就職を希望ですが、就職セミナーを聞いて、地元にも魅力ある企業があることを知り大変参考になりました。
- 個別面談では、親が不安に思っていたことを分かりやすく説明していただいたので、子どもと話し合ってみたいと思います。
- 卒業生のインタビュー動画は、実際の仕事内容や仕事に対する姿勢や考え方、大学生活での気付きなど大変参考になるので現役学生にもぜひ見てほしいです。

TOPICS 1 自治体等による地元就職セミナー

各地区の自治体等の就職支援担当者が雇用状況や就職支援のための自治体等の取り組みを紹介しました。

近年の本学学生の就職に特徴的なこととして、地元への貢献意識が挙げられます。また、保護者の皆さまの中にも、「学生時代を仙台で過ごしても、就職の際には地元に戻ってきてほしい」という思いが少なからずあるようです。

こうした状況を踏まえ、地区後援会では、「自治体等による地元就職セミナー」を実施しました(一部の地区を除く)。セミナーでは、各地区の自治体等の就職支援担当者や地元企業の担当者が講演を行い、雇用状況や就職支援のための取り組みを紹介しました。卒業後の進路は保護者の皆さまにとって大きな関心事の一つであり、講演者の説明に熱心に聞き入る姿が印象的でした。



TOPICS 2 若手卒業生による学生生活体験談の動画上映



民間企業、公務員、教員など
様々な分野で活躍する若手卒業生が登場。
在学中の経験や仕事への思いを
インタビュー動画で伝えました。

昼食時間を利用し、若手卒業生による学生生活体験談の動画を上映しました。動画は、社会の様々な分野で活躍する若手卒業生の皆さんに、大学時代の経験がどのように現在の仕事に役立っているのか、また、就職活動を行った際の心構えや取り組みなどについてインタビューをしたものです。全6学部の若手卒業生が登場し、勤務先も民間企業4名、公務員1名、教員1名とバラエティ豊かであったこともあり、興味を持ってお聞きいただくことができました。

上映した映像は後援会ホームページにて公開中

<https://www.tgu-kouenkai.org/>

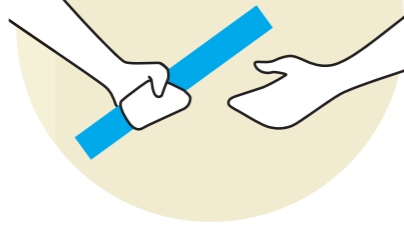
- 佐藤光さん(経営学部経営学科卒業、宮城県蔵王町役場)
- 木村凌さん(工学部機械知能工学科卒業、(株)TTK)
- 鈴木有美さん(文学部歴史学科卒業、(株)ビー・プロ)
- 野崎聖華さん(法学部法律学科卒業、(株)仙台銀行)
- 小松正法さん(経済学部経済学科、(株)藤崎)
- 小野公平さん(教養学部情報科学科卒業、仙台市立柳生小学校)



川端康成、村上春樹…。日本の作家の小説を日本語で読んでみたいです。



Student's Relay interview



まなぶ
ただい
ま。

英語力を磨けば、卒業後の仕事にもきっと役立つ！



name: キューン ジェニファー
KÜHN Jennifer さん
class: 経済学部 経済学科
grade: ラインメイン大学3年生

STUDENT'S VOICE
自然が豊かな一方で、都会の楽しみもある仙台が気に入っています。ドイツの学生とは違い、日本の学生は留学生に優しく接してくれるので、とても助かっています。

name: 大場 悠生 さん
class: 工学部 環境建設工学科
grade: 2

STUDENT'S VOICE
環境建設工学科では、建築コースに所属しています。短期留学では、それぞれの地の景観や建造物を建築の視点から見ることができ、それも収穫でした。

テレビアニメの「NARUTO」を観たことをきっかけに日本語の響きに興味を持ち、チェコの高校を卒業後、経済学と日本語を学ぶため、ドイツのラインメイン大学に入学。2019年9月、協定校である東北学院大学の「経済学&日本語プログラム」に参加するため仙台へやって来ました。日本文化を直に体験することで価値観や視野を広げ、日本語力の向上を図ることが今回の留学の目的です。日本語を学ぶ授業はかなりレベルが高く、私にとってはそれが学びのモチベーションとなっています。プログラム終了後は、東京でインターンシップに参加する予定です。ラインメイン大学に戻ってからは、日本経済に関する卒業論文を書きたいと思います。将来は、日本語の会話能力を活かし、ドイツに支店を置く日本企業で働くことが目標です。

私のイチオシ

アイシャドウパレット
一番のお気に入り、アメリカの化粧品メーカーURBAN DECAYのアイシャドウパレット。ナチュラルな色合いが並ぶこのパレットは、今の私に必須のアイテムです。



1年次に3週間のカナダ短期留学、2年次に4週間のマルタ短期留学を経験しました。カナダでは午前中に英語のレッスン、午後は様々なアクティビティの中から興味のあるものを選び、ホエールウォッチングやカヤックなどを体験しました。マルタでも午前中はカナダと同様に英語のレッスンでしたが、午後はすべてフリータイムで、自分で仲間を作り自由に過ごすことができました。日本での英語学習は「読む・書く」が中心になりがちですが、これらのプログラムでは「話す・聞く」という面に重きが置かれ、留学前後のTOEIC検定ではスコアをアップさせることができました。英語力の向上には、継続が重要です。長期の海外留学も視野に入れ、英語を話す機会を自ら作り出していきたいと考えています。

私のイチオシ

大学名入りトレーナー
留学の記念にするため、留学先の大学で大学の名入りトレーナーを購入しました。学生証の入ったカードホルダーも思い出の品の一つです。



はばたく・かがやく
OB・OG訪問

半澤 幸太 さん

楽天株式会社
Employee Engagement Department
Network Promotion Team

2005年東北学院大学文学部英文学科入学。2008年交換留学制度を利用し、アメリカの協定校FRANKLIN & MARSHALL大学へ留学。2010年3月卒業、株式会社ステージラインに入社し、学生からビジネスパーソンなど大人を対象にした英語指導プログラムの作成運営に従事。2015年同社を退職後、イギリスのBirbeck, University of London(大学院)へ入学、修士号を取得。2016年に帰国し、楽天株式会社へ入社。現在は、Employee Engagement Departmentの一員として、社内のダイバーシティ推進プロジェクトを担当している。



「グローバルな生き方、その第一歩が留学」

積み上げてきたものを最大限に発揮する場として、ダイバーシティ推進という現在の仕事がある。

半澤さんは文学部英文学科の4年時、交換留学制度を活用して1年間のアメリカ留学を体験した。その目的は、長期間の海外居住を通して異文化を体験し英語力の向上を図ることにあったという。「留学先では、言語学やアメリカ文化など興味のある授業を選択し、クラスの中でディスカッションしたり、自分の考えを発信したりという経験をしました。想像以上に充実した時間を過ごすことができました」。

企業向け英語プログラムを担当する仕事を通して、「英語を使うビジネスの世界に自分も携わってみたい」と考えるようになった半澤さんは、その後イギリスの大学院へ入学。異文化コミュニケーションを専攻し、帰国後楽天株式会社に入社した。現在は、社内のダイバーシティ推進プロジェクトを担当し、ワーキングペア

レンツやLGBT当事者、外国籍社員などが持つ、多様な価値観を尊重し合える環境づくりに取り組んでいる。「交換留学、英語を学ぶ人々の支援、イギリスの大学院での学びなど、これまで積み上げてきたものを最大限に発揮する場として、現在の仕事はあります。グローバルを意識した生き方、キャリアづくりの第一歩、それが留学ではないでしょうか」。



楽天株式会社

■創立 1997年
■代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史
■従業員数 約18,000名(2019年6月現在)
■資本金 205,924百万円(2018年12月31日現在)
■所在地(本社) 〒158-0094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天クリムゾンハウス
TEL. 050-5581-6910(代表)
https://corp.rakuten.co.jp

グループサービス利用者は約13億人、世界30カ国・地域でビジネスを展開している。「グローバルイノベーションカンパニー」であり続けるというビジョンのもと、常識をくつがえすイノベーションを生み出し続けることを目指す。社内公用語を英語にし、世界中から優秀な人材を集め、国境を越えて多様なアイデアがオープンに行き交う文化を促進することで、イノベーションを加速させる原動力としている。世界市場を視野に入れた、新しいオープン型ECプラットフォームやアドテックのほか、ディープラーニング(深層学習)を活用したチャットボットやAI(人工知能)技術、ドローンによる配送実験などの分野における新しいビジネスモデルにも挑戦している。

ゼミ研究室探訪

単なる翻訳ではなく、 背景を掘り下げていく。 原典講読の醍醐味は その中にある。

塚本 信也 ゼミ

教養学部 言語文化学科

複数の外国語を学ぶことにはどんな意味がありますか？

日本語に英語、さらにもう一つの言語を学ぶのは、いわば世界を三点測量するようなもの。自分と自分の属する世界について、言語を介して立体的、より客観的に捉えてほしいがため、昨今よく話題にのぼる多様性を考える方法にも通じるでしょうか。教養学部言語文化学科の場合、日本語と英語に加え、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の中から1つを選び、言語と文化について幅広く、かつ集中的に学んでいきます。ここ数年は、以前にもまして中国語を選択する学生が増えました。その理由を聞けば、親族が中国人や台湾人だ、身近に中国語を話す人がいたなど、世界が重なりはじめていることを否応なく感じさせられます。

A語を話す父とB語を話す母の間にC国に生まれ、D国に育ち、E語を話す“私”。スポーツ選手の例を挙げるまでもなく、こういう“私”は今や、珍しいケースではありません。われわれの学科は、言語や文化の多様性を学びた認めながら、その違いを乗り越え、より良いコミュニケーションの可能性を見出すことを目指しています。

ゼミではどんな取り組みを行っていますか？

私の専門は、中国の古典文学です。時代的には、科挙という全国統一試験がスタートする以前、つまり地方ごとに多様な文化や基準があった頃の思潮や文学に興味があります。作品は漢文、いわば標準語で書かれていますが、そこには標準語を獲得するまでに流した汗や涙、血が滲んでいます。テキストをただ漫然と日本語に置き換えるのではなく、その表現や修辞を選ぶまでにどんな葛藤が、思考のプロセスがあったのか、言語学、哲学や歴史学の領域にまで関心を広げ研究を行ってきました。



塚本 信也 教授

1995年東北大学大学院文学研究科(博士後期課程)退学。東北学院大学教養学部助手を経て、2014年より現職。担当科目:中国語I、中国語II、中国語中級(総合)、中国語中級(読解)、中国の言語文化論、原典講読(中国語)、総合研究

ゼミでは中国語の書籍に挑戦しています。いわゆる原書の輪読です。現在は、2016年に106歳で亡くなった女性のエッセイを、すなわち古い中国と新しい中国、その酸いも甘いも知りつくした最高最上の知識人が紡ぎ出す世界を、味読しています。輪読の際に大切にしているのは、ただ表面を撫でたような逐語訳ではなく、その背景をしっかりと調べて提示共有すること。辞書の向こうにある資料を見せてほしい、仲間にバトンを渡すような感覚で、学生にはいつもそう念押ししています。

決して誇張ではなく、調べれば調べるほど分らなくなります。何せ「中国三千年の歴史」ですから。時空を越え、文意を共有共感するには、その言葉のいろいろな用例にあたる必要があるし、文脈や文化についても目配りが欠かせません。手間暇をかけることの面白さを学生たちに伝えられたらと願っています。分からないということは、なかなか素敵なことなのです。

留学生を迎える。留学生として送り出す。



留学生が帰国する前には、みんなで食事会。

ゼミには中国や台湾の協定校からやってきた留学生が加わっています。原典を読む際、中国語やその背景に分からないところがあれば、留学生たちに教えを請う。また、留学生も分からない日本語があれば日本側の学生に教えを請う。そうした関係性を大切にすることが、ゼミ内に良い意味での緊張感をもたらしているようです。

本学の学生に最低目標として示すのは、中国語検定3級のクリアです。3級に合格すると、自習能力が格段にアップするし、留学先の選択肢も広がります。1年次から口を酸っぱくしていうので、2年次にはそのレベルに達し、留学する者もかなり増えてきました。ゼミ生全員がこぞって2級を目指せるようになれば、全体の底上げが更に進むはず。

料理研究会

定期調理を中心に、
和気あいあいと活動。

料理研究会は70名近い学生が在籍する多所帯のサークルです。活動の中心は、月1回程度開催する「定期調理」。定期調理では、泉区内にあるキッチンスタジオなどを主な会場に、暑さに負けないカレー作り、ローストビーフやグラタンといったクリスマス向けディナーなど、季節に合わせたメニューを決めて様々な料理にチャレンジしています。料理を指南する講師役やリーダーなどは特に設けず、インターネットから収集したレシピを参考にしながら「楽しく作り、

楽しく食べる」をモットーに、和気あいあいと活動することを大切にしています。

サークルのメンバーには、大学に入り初めての一人暮らしをスタートさせた学生のほか、自宅から通学する学生もいます。そこに共通するのは、「友達を増やしたい」という思い。料理研究会ならではのアットホームな雰囲気が、そうした学生のニーズにマッチしているのかもしれません。また、調理体験を重ねるなかで料理のレパートリーが徐々に増え、食材に対する知識が自然に身に付いていくという点も、料理研究会の魅力の一つとなっているようです。

2019年5月に開催された東北学院大学後援会総会では、参加者に提供のお弁当のプロデュースを料理研究会が担当しました。メニューや盛り付けレイアウトなどについて弁当業者2社と話し合いを重ね、試作等を通して「予算内でより魅力的なお弁当づくり」を目指しました。総会当日、お弁当を口にした参加者からの評判は上々。料理研究会のメンバーにとっても、自らプロデュースした弁当への評価や反応を直に感じることができる貴重な機会となりました。

STUDENT'S VOICE



代表
遠藤 晋作さん
文学部英文学科3年
「大学祭で好評いただいている伝統の出店メニュー「料研焼き（お好み焼き）」は、後輩に是非引き継いでいきたいです」



プロデュースしたお弁当と配布風景



ラグビー部

全国大学選手権大会での
一勝を目標に。

ラグビー部の部員数はマネージャーも含め約40名。選手全員が高校でのラグビー経験者で、月曜日を除く週6日、泉キャンパスで練習しています。普段の練習メニューは主将と副将、フォワードリーダー、バックスリーダーを中心に、相談して決めています。チーム運営で大切にしているのは、選手個々が互いに意見を言いやすい環境を作ること。そうした環境のもとで日々練習を重ねることで、選手全員が一人ひとりしっかり考えることのできる、そんなチーム作りを目指しています。

目標とするのは、まず東北地区大学ラグビーリーグ1部（東北学院大学、東北大学、東北大学医学部、岩手大学、秋田大学・ノースアジア大学合同、八戸学院大学の6チーム）での優勝、そして東北・北海道代表決定戦に勝利し、全国大学ラグビーフットボール選手権大会への出場権を得て、そこで悲願の一勝を果たすこと。大学選手権には5回進出しチャレンジしてきたものの、全国大会出場校の力の前にことごとくはね返されてきました。全国大会に出場してくる他大学チームに比べ、体格的に劣るチームだけに、ウエイトトレーニングによる体作りはもちろんのこと、豊富な運動量と展開力の向上が勝利のための条件。そのうえで、「タックルの強化とセットプレー（スクラムやラインアウト）での不安定さを克服したい」と話すのは、主将を務めるフッカーの平藤選手です。

ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本チームの活躍とともにラグビーへの関心が高まる2019年、文武両道の精神で練習に打ち込む東北学院大学ラグビー部の今後の活躍に期待してください。

STUDENT'S VOICE



主将
平藤 大惟介さん
法学部法律学科4年
「毎年夏には、長野県の菅平で強化合宿を開催。全国から多くの大学が集まる中で、普段は対戦することのない大学と練習試合、貴重な経験となっています」



マネージャー
土田ひなのさん **中川原菜里**さん
法学部法律学科4年 経済学部共生社会経済学科3年
「日々の練習の成果を試合で発揮してもらうために、マネージャーにできることは何かをいつも考えています。次のことを考えて行動する、それがマネージャーの極意です」



学務部より

成績表から分かること

学務部長 加藤 健二

ご家庭に送付されました前期成績表をご覧いただきましたでしょうか。以下に、成績表をご覧いただく際のポイントを3点ご紹介いたします。

まず、表右下に「卒業(進級)見込」の記載があるかどうかご確認ください。この記載がない場合、このままでは卒業(あるいは進級)が大変危くなります。そういう事態にならないためには、まずは4月時点での適切な「科目履修登録」が重要です。大学も幾重にもチェックをしていますが、ご家庭でも抜かりなく登録したか話題にいただければと思います。

適切な登録をしても、しっかり学修して科目に合格しなければいけません。科目の評価欄が「///」となっている科目は、欠席が多い、試験を受けていない等の理由でこの授業を放棄したと見なされたものです。この記号が数多く見られないか、

注意していただければと思います。なお、出席、受験もしているのにこの記号となっている場合は記載ミス可能性がありますので、必ず期限内に教務課(学務係)に申し出てください。

成績表にはGPAという数値(全学修成績の平均点を0～4点の範囲で表したもの)も記載されています。この値が3.0以上だと成績優秀ということで次期履修登録できる単位数が増える(実施していない学部もあります)、1.0未満が続くと退学勧告を受けることがあるなど、今後の学業に大きく影響しますので、保護者の皆様にも十分のご理解とご注目をお願いしたいと思います。

就職キャリア支援部より

学生一人一人の就職・進路のため

就職キャリア支援部長
武田 三弘

今年度より、就職キャリア支援部長となりました武田です。どうぞ、宜しくお願い致します。このGROWTHが届く頃には、3年生の保護者の皆様は、就職先について悩み始める時期ではないでしょうか。現在の3年生までは、来年の3月から企業情報公開、そして6月から選考開始となっておりますが、現実には多くの企業は早期に求人活動を行っております。それに最近では、インターンシップを通して3年生の夏から学生との接触を行い、就職に結びつけようとする企業も多い状況です。

就職キャリア支援部では、学生が就職活動に入る際に慌てないように、低学年時から各種ガイダンスを通して指導を行っております。一例としては、1年次には自分を知るためのコンピテンシー診断、2年次には職務適性テスト、3年次にはTGインターンシップなどです。この様に、多くのガイダンスを通して、

就職試験を受ける前に「社会人基礎力」を身に付ける努力をしております。

また、保護者の皆様にも、我々の指導内容や現状の就職状況、或いは保護者の皆様の就活に関する疑問や悩みなどの情報交換をできる場として、11月以降に「保護者のための就職セミナー(就職懇談会)」を実施しております。

就職を希望する学生全員を希望の職業に就けるよう支援を行うのが就職キャリア支援部の役目です。今後とも学生のため支援して参りますので、ご活用の際、宜しくお願い致します。

学生部より

土樋学生食堂の愛称が「miraco(ミラコ)」に

学生部長 石垣 茂光

はじめに、10月に発生した台風19号により被災されました学生・保護者の方々に心よりお見舞い申し上げます。広範囲にわたり多くの人的・物的被害をもたらした今回の台風ですが、大学も状況把握に努め、今後の支援の在り方について検討をしております。また、毎年実施しております防災訓練を、本年は10月17日に全キャンパスにおいて行いました。

土樋90周年記念館1階にある学生食堂が9月24日にリニューアルオープンしました。リニューアルに合わせて、学内で新しい愛称を募集したところ、58件の応募があり、審査の結果、経済学部共生社会経済学科3年 昆野はづきさんが応募した「miraco(ミラコ)」に決定しました。「miraco(ミラコ)」はミラクルから来ており、大学生活にミラクルが起きますようにとの願いがこめられています。9月24日のオープンに合わせて、当日は「miraco(ミラコ)」内で表彰式を行いました。

今年も課外活動団体が大活躍をしております。弓道部は東北地区大会個人戦で男女とも優勝し、ゴルフ部も優勝してDブロック

への昇格を決めました。少林寺拳法部も個人戦でそれぞれ優秀な成績を収めております。水泳部もインカレ出場選手を多数輩出し、バドミントン部も女子団体・個人がインカレ出場を決めております。陸上部も個人優勝するなどの活躍を見せております。自転車競技部でも全日本大学ロードカップシリーズで個人優勝や上位入賞しております。また、大学宗教部の聖歌隊が、日頃の活動が認められ、学長表彰を受けました。



INFORMATION

後援会の主な事業・助成のご紹介

後援会総会、大学開放プログラム、地区後援会の実施

東北学院大学後援会資格取得報奨制度

体育会、学生会、文化団体連合会等の課外活動団体への助成

就職活動に対する助成

東北学院大学各種奨学金への助成

「保護者のための大学ガイド」、「グロース(春・秋)」、「カレンダー」の発行

学業優秀者への記念品贈呈

施設賠償責任保険への加入

ホームページのご案内



後援会の最新情報や、後援会総会、地区後援会のご案内などを、随時更新いたします。



<https://www.tgu-kouenkai.org/>